

まちのニュース

TOWNS NEWS

夏休みの宿題じっくり

7/27～8/2 札内福祉センター

夏休み中、小学生の自主学習を手助けする「学び隊」が町民会館（幕別地区）と札内福祉センター、札内南コミュニティセンター（札内地区）で行われました。子どもたちが持ち寄った宿題を、退職教員がボランティアとして、一人ひとりにじっくりアドバイスしていました。

今回が4回目の参加という武田侑莉さん（白人小6年）は「1人では、なかなか取り組むこ



とができず、夏休みを有意義に過ごせなかったが、学び隊に参加したら、やる学習をすることができて良かった」と話していました。

理科の楽しさ実感

8/3 集団研修施設こまはた

釧路工業高等専門学校による「ロボット作り体験教室」が行われ、小・中学生10人が真剣な表情でロボット作りに取り組んでいました。補助学生として参加していた幕別町出身の関口育栄さんは、「子どもたちにもものづくりの楽しさを知ってもらいたい。」と話していました。



ちびっこ水泳教室

8/3～5 忠類町民プール

小学校1年生から3年生までを対象としたちびっこ水泳教室が忠類町民プールで開かれ、毎日50人の子どもたちが水の感触を楽しんでいました。子どもたちは、それぞれの泳力に合わせた指導を受け、「息つぎができた！」と水泳を楽しんでいました。



運転手にルール^{じゅんしゅ}遵守を

7/26 幕別本町の駅前交差点

幕別町老人クラブ連合会の第4回交通安全推進大会が町民会館で開かれ、会員約120人が参加しました。

その後、参加者は「スピードダウン安全運転」と書かれた旗を片手に交通安全の呼びかけを行いました。



防災の意識を高めて

8/7 幕別北コミュニティーセンター

旭町第2公区で「夏のふれあいまつり」に合わせて救急講習会が開かれました。幕別消防署の署員がAED（自動体外式除細動器）や、消火器などの使用方法を説明しました。

高橋公区長は「日ごろから防災への意識を高めていきましょう」と呼び掛けていました。

農業への関心高まり

8/10 田村牧場

子供たちに農業を身近に感じてもらう「農業体験塾」が、田村農場（南勢）で開かれました。

参加した小学生らは、牛の乳搾りやエサやりなど酪農家的一天を体験しました。加工体験施設「ふるさと味覚工房」で、自ら作ったバターでジャガイモを味わいました。



交流の輪を広げて

8/11 春日町近隣センター

札内春日町に住む坂本陽子さんが代表を務める地域サロン「春日おひさまサロン」が開かれました。代表の坂本さんは「誰もが集まれ、おしゃべりができる場です。みんなで楽しく交流していますので、気軽にいらしてください。」と話していました。

夏の風物詩、盆踊りを特集



8月14日に忠類地域で、20日に幕別地域で盆踊り大会が開催されました。かわいらしさあふれる子ども盆踊りや趣向を凝らした衣装、踊りで会場を盛り上げた仮装盆踊りなど、訪れた多くの町民が、夏の風物詩を楽しんでいました。

熱気あふれる踊りの輪

